

園部くんち

宝満の神の御神幸



令和6年10月20日(日)

お下り神事 午前7時～

お上り神事 午後2時～



●辻御幣が立てられます



●田んぼの中を駆け巡る挟箱



●道中で行われる奉納芸能

■園部くんち

園部くんちは、宝満神社の御祭神である玉依姫命たまよりひめのみことさまが、御神幸みゆきされる祭で、9月29日に催行されていましたが、大正2年(1913)から10月17日かんなめさい(神嘗祭の祝日)に変更され、昭和後期からは10月17日に近い日曜日に行われています。

早朝に本殿にて本殿はつぎよさい発御祭、神輿への御神入祭などの神事が執り行われ、辻御幣つじごへいが神幸の道へ立てられると、御旅所であるお仮殿へのお下りが始まり、午後2時から御旅所から本宮へのお上りが行われます。

神輿に帯同する行列の中に、奉納芸能を催行する大名行列おてつぼう おゆみ はさみばこ しろはぐま(御鉄砲・御弓・挟箱・白羽熊)があり、お下り、お上りの道中で大名行列の方々によって演舞が催行されます。中でも挟箱は、箱を上下に振って音を出すように中に鈴が入れられており、持ち手の交替の折に箱を激しく上下させ賑やかさを表現します。また、神幸の道沿いの田んぼの中を駆け巡る所作もあり、祭の「ハレ」の気を表現しています。

白羽熊は、毛槍を廻し先端の白い毛を勢いよく広げ、交替の際は合図とともに羽熊を投げ、倒さないように受け取る様に見学する人々が一喜一憂します。



■きやまの民俗芸能V みゆきする神々展 開催

会期：令和6年9月14日(土)～11月3日(日)

場所：基山町立図書館 郷土資料コーナー